

## 「第2期滋賀県スポーツ推進計画」に基づく施策の実施状況について

(令和元年度実績)

### 第2期滋賀県スポーツ推進計画の概要

平成27年12月に公布、施行した滋賀県スポーツ推進条例に基づき、平成30年度から令和4年度までの5年間を計画期間とする「第2期滋賀県スポーツ推進計画」を平成30年3月に策定した。

・目指す姿

すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、自ら進んで参画し、互いに連携・協働することを通じて、滋賀県民であることに誇りを感じて、幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会の実現 ～スポーツで滋賀を元気に！ 滋賀の未来を創る！～

・基本方針

- I スポーツの力で「豊かで健やかな生活」を創る！
- II スポーツの力で「元気な地域」を創る！
- III スポーツの力で「感動の滋賀」を創る！

・政策

- 1 生涯にわたるすべての県民のスポーツ活動の充実
- 2 スポーツの持つ多様な価値の共有
- 3 スポーツ施設・環境の充実
- 4 スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化
- 5 国体・全国障害者スポーツ大会等に向けた競技力向上と競技者の拡大
- 6 地域の特性を活かした大会レガシーの創出

・計画期間

平成30年度～令和4年度 (5年間)

#### ■達成率別指標数

・達成率について

【(実績-基準) / (目標-基準) × 100】により算定

達成率がマイナスとなったものは「0%」、100を超えたものは「100%」としている。

・評価について

滋賀県基本構想実施計画(第1期)に位置付けがある指標のうち同実施計画の年次目標を達成しているものは「A」、達成していないものは「B」、未集計は「N」として表している。ただし、同実施計画の年次目標に位置付けがない指標については、平成30年度は20%以上、令和元年度は40%以上のものを「A」、平成30年度は20%未満、令和元年度は40%未満のものを「B」としている。

評価	平成30年度	令和元年度
A: 年次目標達成	7項目	6項目
B: 年次目標未達成	8項目	9項目
N: 未集計	1項目	1項目
合計	16項目	16項目



## 【基本方針Ⅱ】スポーツの力で「元気な地域」を創る！

### ■スポーツ施設・環境の充実（政策3）

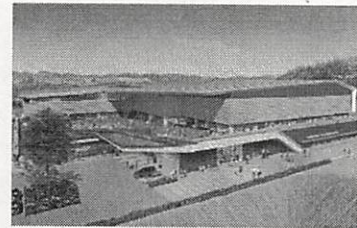
#### 【主な指標の状況】

指標	策定時 (H26)	H30	R元	R4目標	達成率	評価
県内の公共スポーツ施設の利用者数	6,617,409 人	5,826,776 人	5,699,024 人	7,300,000 人以上	0%	B

#### 【主な施策の実施状況および今後の方向性】

- 県内の公共スポーツ施設の利用者数は、老朽化した施設の改修等に伴う施設の閉鎖や新型コロナウイルス感染症の影響等により減少している。

本県で開催する国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、主会場となる（仮称）彦根総合運動公園の再整備については建築・造成工事等を実施し、滋賀アリーナ整備については建設予定地の造成および建物の設計に着手し、琵琶湖漕艇場再整備については建物改築工事およびコース改修工事に着手した。また、（仮称）草津市立プールの整備については草津市に対して財政支援を行った。



（滋賀アリーナ完成予想図）

#### 【今後の方向性】

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の競技会場としてだけでなく、県民のスポーツ・健康づくりの中核施設となるよう、周辺環境にも配慮しながら、着実に整備を進めていく。

### ■スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化（政策4）

#### 【主な施策の実施状況および今後の方向性】

- 高い競技力を有する企業や大学等を指定（12団体20チーム）して強化事業を実施し、茨城国体において水泳（競泳）、バレーボール、バスケットボール、馬術、カヌー、ウエイトリフティング、ライフル射撃競技の成年種別において入賞することができた。

また、医科学サポートスタッフを競技団体の強化練習会や国体・近畿ブロック大会、全国障害者スポーツ大会に派遣し、滋賀県選手団のコンディション維持に貢献した。



（バレーボール成年女子（東レアローズ））

#### 【今後の方向性】

成年選手の競技力の向上に向けて、引き続き、大学・企業等とスポーツ団体との連携・協働に取り組み、サポート体制を充実していく。



## 【基本方針Ⅲ】スポーツの力で「感動の滋賀」を創る！

### ■国体・全国障害者スポーツ大会等に向けた競技力の向上と競技者の拡大（政策5）

#### 【主な指標の状況】

指 標	策定時 (H29)	H30	R 元	R4 目標	達成率	評価
国体総合順位	39 位	31 位	30 位	8 位以内	29.0%	B

#### 【主な施策の実施状況および今後の方向性】

- 県内在住の小学5年生を「滋賀レイキッズ6期生」に認定（40人）し、5期生とともに育成プログラムを実施した。

本県での国民スポーツ大会開催時に少年種別の中心となるターゲットエイジの中から強化指定選手として指定証を交付し、強化事業を実施した。

パラスポーツチャレンジプロジェクトでは、県内大学生を特別支援学校に派遣し、運動部活動を支援した。

##### 【今後の方向性】

ターゲットエイジの強化に向け、レベルの高い指導を受けられる機会の充実や中学校との連携を強化するとともに、優秀な選手の県外流出の抑止に向けた取組を行う。



(滋賀レイキッズ6期生認定証交付式)

- 強化拠点校に派遣する優秀指導者を8人増員し、強化事業を実施した結果、レスリング、ウェイトリフティング、セーリング競技少年種別での国体上位入賞につなげることができた。
- また、国体監督資格等の取得のために研修会等に参加する指導者に対する支援を実施し、監督資格取得者数が前年度と比較して7人増加した。

##### 【今後の方向性】

強化拠点校における指導体制をさらに充実させ、少年種別の競技力向上につなげるため、優秀指導者派遣対象部の拡大を図る。

### ■地域の特性を活かした大会レガシーの創出（政策6）

#### 【主な施策の実施状況および今後の方向性】

- 本県での国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、会場地市町の選定を進めるとともに、競技会場となる市町に対して支援を行った。

また、開催内定を記念したイベントや県内の様々なイベントでのPR・募金活動、さらにラッピングバスの運行や駅への大型階段広告の掲出等により、大会開催の周知と機運醸成を図った。

##### 【今後の方向性】

全ての競技会場地の選定に向けて、市町、競技団体等との調整を続けるとともに、各競技会の開催に向けた準備が円滑に進むよう、市町、競技団体に対する支援を行う。併せて、両大会の愛称・スローガンやマスコットキャラクターを活用した発信の強化等を通じて、大会開催に向けた機運醸成を図る。



(国スポ・障スポ大会 PR・募金活動)



第2期滋賀県スポーツ推進計画 指標の達成状況（令和元年度）

評価	項目数	指標の内容 (網掛けは滋賀県基本構想実施計画に位置付けがあるもの)	令和元年度 の状況	目標 令和元年度※1	達成率 (%) ※2	
A	年次目標 達成	6	・成人の週1回以上のスポーツ実施率(男)	45.6%	44%	—
		・しがスポーツ大使の就任数	38者	(50者以上)	50.0	
		・アスリートを採用した県内企業数	39社	(45社以上)	53.8	
		・スポーツボランティア登録者数 (本県ボランティア登録システム利用)	3,379人	1,500人	—	
		・スポーツ・レクリエーションを目的とする観光 入込客数(暦年)	1,105万人	(1,200万人 以上)	52.0	
		・オリンピック・パラリンピックのホストタウンを通 じて海外との交流を始めた市町数	5市	(6市町以上)	66.7	
B	年次目標 未達成	9	・成人の週1回以上のスポーツ実施率(女)	42.4%	44%	—
		・子どもの1週間の運動・スポーツ実施時間 (土日を含み、平日授業を除く) 【小学5年生】(男)	558.8分	(625分)	0	
		・子どもの1週間の運動・スポーツ実施時間 (土日を含み、平日授業を除く) 【小学5年生】(女)	330.2分	(382分)	0	
		・総合型地域スポーツクラブで指導する有資 格スポーツ指導者数	280人	(370人以上)	12.6	
		・県内の公共スポーツ施設の利用者数	5,699,024人	(7,300,000 人以上)	0	
		・民間団体等の実施するスポーツイベントへ の県の後援件数	128件	(200件以上)	0	
		・滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム 等のホームゲーム観客数	73,262人	(100,000人 以上)	31.7	
		・国体総合順位	30位	(8位以内)	29.0	
		・県障害者スポーツ大会の参加者数	708人	(1,000人以 上)	0	
N	未集計	1	・障害者の週1回以上のスポーツ実施率	—	(65%以上)	—

※1 滋賀県基本構想実施計画に位置付けがある場合は、当計画の年次目標数値を記載。当計画の位置付けがない場合は、第2期滋賀県スポーツ推進計画で定める令和4年度目標数値を( )で記載。

※2 滋賀県基本構想実施計画の位置付けがない指標の達成率算定方法 (実績－基準)/(目標－基準)×100  
達成率がマイナスとなったものは「0%」、100を超えたものは「100%」としている。

滋賀県基本構想実施計画の位置付けがない指標の評価については、達成率40%以上のものを達成(A)、  
40%未満のものを未達成(B)としている。